

いつもお世話になっております。
誠に恐れ入りますが
7月20日(月)18時00分(予定) 情報解禁にて
下記をお取り扱いいただきますよう、よろしく願いいたします。

報道関係各位

2020年7月20日
株式会社フジテレビジョン

SF 作家の想像力がアフターコロナの世界を照らし出す！

日本 SF 界より、レジェンド・新井素子、鬼才・沖方丁、
俊英・藤井太洋、新進気鋭の小川哲、が豪華集結！
中国 SF 界から『三体』の劉慈欣も緊急参加！

『世界SF作家会議』

<ワールドプレミア放送>

7月26日(日)25時55分～26時55分
フジテレビ(関東ローカル)

<配信版(オリジナル版)>

7月26日(日)27時00分 配信開始(予定)
8.8チャンネル(YouTube チャンネル)

株式会社フジテレビジョン（本社：東京都港区、代表取締役社長：遠藤龍之介）は、7月26日（日）25時55分～26時55分に『世界SF作家会議』を地上波（関東ローカル）にて放送いたします。また、地上波放送と同日の27時00分より、「会議」の全容を収めた<オリジナル版>をフジテレビが運営するYouTube「8.8チャンネル」にて配信を予定しています。

【番組概要】

AD2020年。世界的に大流行する新型コロナウイルス感染症は、この世界の枠組みをいともたやすく変えてしまった…。

このパンデミック後の世界、すなわち「アフターコロナの世界」は、果たしてどんな世界になって行くのだろうか？ 私たちに待ち受けるのは、ユートピアなのか、ディストピアなのか？

さらなる感染拡大が危ぶまれ、まだまだ先行きが不透明・不安定な日々が地球規模で続く中、ここに集結し、持てる想像力を駆使してパンデミックに立ち向かおうとするものたちがいる。

そう、人類がまさに直面するこの未曾有の大問題に挑むのは、化学者でも、医学者でも、経済学者でも、もちろん政治家でもない。それは、SF作家たちだ！

彼らは来る日も来る日も「未来」のことを考え続けてきた、まさに「未来のプロフェッショナル」である。その膨大な知識と、豊かな想像力、一面クレイジーでもある妄想力で、日本を代表するSF作家たちが緊急会議を行い、アフターコロナの世界を語り尽くす！

「アフターコロナ」については、毎日、様々なメディアで、様々な人々が、様々な言葉を大量に発しているが、どこか食傷気味であると感じている人々は…実は多いのではないかと？

SF作家たちは自らの想像力以外、何者にも頼らず、屈しない。

ここで彼らが語る言葉は、他では聞けることが出来ない貴重な言葉かもしれない。彼らの本質に肉薄するピュアな想像力と未来を見渡す澄んだ目から発せられる言葉たちは、未来を照射する一筋の

光源となる可能性もある！

時代より半歩先をゆく、注目のリモート会議が開幕する！



★まずは、「世界 SF 作家会議」に参加する、日本が誇る SF 界の才能たちを紹介しよう。

【新井素子（あらい・もとこ）】

AD1960 年生まれ。高校 2 年生のとき、『あたしの中の……』で鮮烈なデビューを飾る。以後 43 年にわたって活躍中の日本 SF 界のレジェンドのひとり。代表作に『星へ行く船』シリーズ、『グリーン・レクイエム』など。

【沖方丁（うぶかた・とう）】

AD1977 年生まれ。大学在学中にデビュー。SF から時代小説、アニメ脚本まで幅広く執筆。代表作は『マルドゥック・スクランブル』など。江戸期の天文暦学者・渋川春海を描いた『天地明察』で各文学賞を総なめにする。

【藤井太洋（ふじい・たいよう）】

AD1971 年生まれ。2012 年、電子書籍で個人出版した作品が話題になり、その改稿版『Gene Mapper -full build-』で商業出版デビュー。代表作に、冒険 SF 大作『オービタル・クラウド』など。

【小川哲（おがわ・さとし）】

AD1986 年生まれ。ディストピア SF『ユートロニカのこちら側』（2015）でデビュー。新世代を代表する SF 作家。代表作『ゲームの王国』（2017）は、恐怖政治下のカンボジアから始まる壮大な SF 巨編。

★そして、中国 SF 界から、世界 SF の最高峰であるヒューゴー賞を受賞した『三体』著者、劉慈欣（りゅう・じきん / リウ・ツーシン）も、北京からビデオで緊急参加！最新の劉慈欣の動画をお届けする。

【劉慈欣（りゅう・じきん / リウ・ツーシン）】

AD1968 年生まれ。エンジニア業の傍ら、SF 短篇を執筆。『三体』で人気が発爆、『三体』三部作は全世界で 2900 万部以上を売り上げた。中国のみならず世界的にも評価され、2015 年、アジア人作家として初めて SF 最大の賞であるヒューゴー賞を受賞。日本でも 2019 年の発売後即 10 万部の大ヒット作品となった。21 世紀の知の巨人ともたとえられる劉慈欣は、今もっとも注目すべき作家のひとりである。オバマ前米大統領はじめ、世界中に多くのファンを持つ。

★司会は、いとうせいこう。現代のテレビ司会で最高の知性派・いとうせいこうは、この想像力の猛者たちをどう仕切っていくのか？

【いとうせいこう】

AD1961 年生まれ。作家・クリエイターとして、あらゆるジャンルに渡る幅広い表現活動を行う。小説『ノーライフキング』『想像ラジオ』の他、エッセイ『ボタニカル・ライフ』などの著作がある。

★今回の会議の顧問は、日本 SF 界の重鎮、大森望。いとうせいこうと共に、SF 作家たち限りない理解と愛を注ぐ。

【大森望（おおもり・のぞみ）】

AD1961 年生まれ。SF 翻訳家、書評家、アンソロジスト。劉慈欣『三体』など訳書多数。新刊時評・アンソロジー編纂などの SF 評論活動も旺盛に行う、日本の SF 界のオーガナイザーである。

★今回の番組では、気鋭の漫画家・森泉岳土が美しい「挿し絵」を描き下ろし。また、森泉は SF 作家たちの言葉に刺激を受けて、今回新作「アフターコロナ」マンガも描き下ろした。このマンガも、番組内で世界に初公開する。

【森泉岳土（もりいずみ・たけひと）】

AD1975 年生まれ。特異な画風と静謐な世界観で注目を集めるマンガ家。著作に「祈りと署名」「セリー」の他、文学作品をマンガ化した「村上春樹の『螢』・オーウェルの『一九八四年』」など。

★そしてこの「世界 SF 作家会議」のオリジナルテーマソングは、各界で注目を集める牛尾憲輔が制作を担当。美しく透明なサウンドが番組全体を静かに彩る。

【牛尾憲輔（うしお・けんすけ）】

ミュージシャン。ソロユニット“agraph”としてテクノミュージックを発表。アニメ作品の劇伴や CM 音楽も多数手掛ける。2010 年のアルバム『equal』には SF 作家・円城塔が書き下ろし短編を寄稿。

■50 年前に日本で行われた、世界初の「SF 作家シンポジウム」について

AD1970 年。まさに 50 年前。この日本において、世界初の「SF 作家シンポジウム」が開かれた。第一回「国際 SF シンポジウム」である。

これは、大阪万博の年に日本 SF 作家クラブが世界の SF 作家を集めて開催した国際会議である。冷戦下にあつて、アメリカ・ソ連両国などの一流作家・評論家が史上初めて日本に集結し、大きな成功を収めた。実行委員長はパンデミック SF の金字塔『復活の日』、そして名作『日本沈没』で知られる小松左京。

今回の「世界 SF 作家会議」は、この「国際 SF シンポジウム」に、半世紀の時空を超えて敬意を表しつつ開催された。そして、地上波での放送日がなんと小松左京の命日と重なるという奇遇も！

この「世界 SF 作家会議」を、偉大なる日本 SF の先達・小松左京の想像力へ捧げたい。

■地上波放送と同日から、「会議」の全容を収めた＜オリジナル版＞の Web 配信が決定。フジテレビが運営する YouTube 「8.8 チャンネル」での公開を予定している（配信開始時間は 26 日 27 時～）。

8.8 チャンネル <https://www.youtube.com/channel/UC6tqmjWZpM2UffG6QBd11aQ/>

<チャンネル概要>

中心ではなく周縁から、カルチャーは生まれる。文化と文化の境目から、カルチャーは生まれる。8 チャンネルよりも、0.8 はみ出した場所から 9 チャンネルよりも、0.2 おさまった場所から 展開する架空の放送局的な存在

■番組概要

タイトル：『世界 SF 作家会議』

フジテレビ（関東ローカル）

7月26日（日）25時55分～26時55分

タイトル：『世界 SF 作家会議 オリジナル版』

YouTube 「8.8チャンネル」で配信

7月26日（日）27時00分 配信開始（予定）

<https://www.youtube.com/channel/UC6tqmjWZpM2UffG6QBd11aQ/>

<進行>

いとうせいこう

<顧問>

大森望

<SF作家>

新井素子

沖方丁

藤井太洋

小川哲

劉慈欣（※VTR出演）

<ビジュアル> 森泉岳土

<サウンド> 牛尾憲輔

◆番組スタッフ

企画／黒木彰一（フジテレビ）

プロデュース／下川猛（フジテレビ）

演出／村尾輝忠

構成／竹村武司

編成／枝根利樹（フジテレビ）

プロデューサー／渡辺資

制作補／堤川周吉

制作／クラフト

技術／アポロ

協力／早川書房 小松左京ライブラリ

製作著作／フジテレビジョン